

令和4年7月24日(日) 夏越の大祓神事

今年も新型コロナウイルスの影響で夏祭りは中止され、神事のみ行われました。神事後、参加者全員で茅の輪くぐりが行われました。



開始太鼓 (8:49 区会が延びため開始が遅くなりました)



全員で、大祓詞を奏上 おほはらえのことば



ひとかたしる
人形代 祓い

- ①頭より足先まで丁寧に体を人形代で撫でる。
- ②息を吹きかけることで自分の罪穢れを移します。



巫女舞奉納



祝詞奏上



宮司 玉串奉奠



区長 玉串奉奠



宮司挨拶



全員で唱え詞（となえことば）を唱えながら茅の輪ぐる



1 回目は左回り



2 回目は右回り



3 回目は拝殿へ



人形代を竹筒に入れます (9:37)



記念写真撮影

茅の輪は 8 月 6 日まで設置してあります。

「夏越の大祓（なごしのおおはらえ）」は、知らず知らず身についた罪穢れを祓い清める神事です。

茅の輪を三回ぐると健康と長寿が叶うといわれています。（形代は地域により車形代・家形代・犬形代などもあります）

※「茅(ち)」というのは、チガヤという植物の古名です。[\(wikipedia\)](https://www.wikipedia.org/) 「茅巻き」も昔はチガヤの葉を使ったそうです。

「茅(かや)・萱(かや)」はチガヤ、スゲ、ススキなどの総称です。[\(wikipedia\)](https://www.wikipedia.org/)